

第371回大阪大学臨床栄養研究会（CNC）

日時：平成28年10月17日（月） 18：00—

場所：大阪大学医学部講義棟2階 B講堂

テーマ：「臨床栄養における最新の知見—神経性食思不振症と鉄過剰症例について」

今回のCNCでは、最近の臨床栄養における2つの重要な課題を取り上げ、大阪大学附属病院NSTでの最新の知見を紹介する。

神経性食思不振症は、refeeding syndrome に陥る可能性の高い代表的な疾患であり、心不全などの致命的合併症を防ぐためには厳密な栄養管理が必要とされる。ここでは、合併症を防ぐための様々な栄養管理上の工夫を紹介すると同時に、基礎代謝量（REE）を経時的に測定することで、本病態の代謝面での特徴を明らかにしたので報告する。

近年、長期的に中心静脈栄養を施行している在宅静脈栄養（HPN）症例において、血清フェリチン値が著明に上昇し、鉄過剰が疑われる症例が見られる。そこで附属病院薬剤部で、鉄を含まない微量元素製剤を開発し、鉄過剰が疑われるHPN症例に対し本剤を投与している、今回、鉄過剰症例の臨床的特徴を検討すると同時に、本製剤を作成する上でのポイントを解説する。

1. 「神経性食思不振症の栄養管理のポイント」

栄養マネジメント部（栄養管理室）松本 佳也

2. 「鉄フリー微量元素製剤の適応と開発」

栄養マネジメント部（薬剤部） 森本 啓太

世話人：栄養マネジメント部（小児外科）和佐 勝史

E-mail: wasa@ped surg.med.osaka-u.ac.jp

次回、第372回CNCは、大藪恵一先生のお世話で平成28年11月14日（月）開催予定です。